



緩和ケア病棟

入院・転入時に『患者の生活スタイル・価値観・意向』の情報収集を実施しています
症状緩和を図りながら、ご本人の価値観を大切に、今までの生活スタイルを維持できるよう支援しています

70代男性 肺がん リンパ節・腰椎転移 下肢浮腫 腰痛

自分でトイレに行けなくなったら、情けない生きている意味がない

トイレ移動により腰痛が増強

どこを支えたら痛みが増強しないか、最小限の移動距離で排泄できるようにするにはどうしたらいいか患者も含めて検討を重ね、**移動介助方法の工夫・環境調整**

亡くなる日の朝まで症状が増強することなくトイレで排泄できた



- ① 臀部ずり落ち防止：滑り止めマット使用
- ② セルフケアの支援：手の届く位置に尿パッド準備
- ③ 下肢の滑り防止：滑り止めマット・バスマット使用
- ④ ポータブルトイレ設置場所の統一：床に目印

患者の生活スタイル・価値観・意向

入院の目的と主症状

痛み □ 呼吸困難 □ 全身倦怠感 □ 嘔気・嘔吐 □ 腰部膨満感 □ 食欲不振 □ せん妄 □ 不安・スピリチュアルペイン □ その他

患者の生活スタイル・価値観・意向（患者が答えられなければ、家族に患者の意向を推測してもらう）

●今までの生活習慣のうち、入院後も継続したいことはなにか（例）新聞を読む、朝はコーヒーを飲むなど

①今までの生活習慣・日課

②最優先で行いたいこと

③次にやりたいこと

●症状による苦痛が軽減したら、どのように過ごしたいか（例）他の人と交流したい、散歩に行きたいなど

●目標（例）毎日、新聞を読むことができる、家族と散歩の時間を持つことができるなど

●食事や排泄、睡眠、入浴などの中で大切に思うことはなにか（例）お風呂は短めであるのがよい、最期までトイレに行きたい

①今まで大切に思っていたこと

②今現在、大切に思っていること

家族の意向

●家族として患者に何をしたいか（例）お風呂に入らせてあげたい、外泊させてあげたい

キーパーソン 関係性

情報提供

痛み緩和 □ 息苦しさの緩和 □ せん妄症状 □ 看取りケア □ ベッド面会 □ 喫煙・飲酒 □ その他

その他

クリア キャンセル カルテに開示



80代男性 胃体部がん 吐き気 全身倦怠感 ベッド上生活

畑仕事が好き
最優先で行いたいこと：毎日屋上庭園の畑を見に行く

屋上庭園に行くとしっかり開眼し受粉や水やりの方法などを生き生きと話し、「普段の自分に戻っているようだ」

苗から育てていたトウモロコシの様子を毎日手入れし、亡くなる前日に収穫することができた
収穫時に意識は朦朧としていたが、は笑顔がみられた

家族と一緒に過ごしたい ⇔ コロナウイルス感染予防目的での面会禁止 患者・家族・医療スタッフのジレンマ

院内の終末期患者の面会：予後に合わせた面会頻度・患者・家族への支援・面会方法
予後6週以上：禁止 予後3～5週：週に1回 予後3週未満：週に1回+a（個別に検討） 予後数日～時間：毎日
タブレット面会・ビデオ電話・手紙・動画による患者と家族をつなぐケアの実施

病院概要



第3次救急医療機関 病床数684床



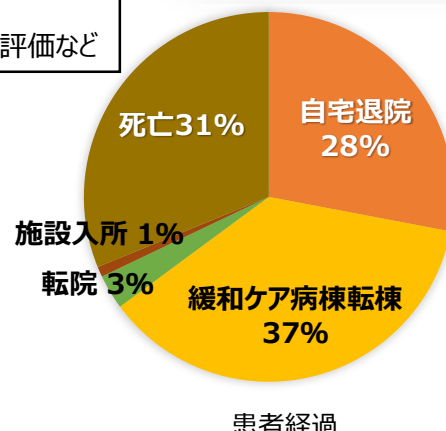
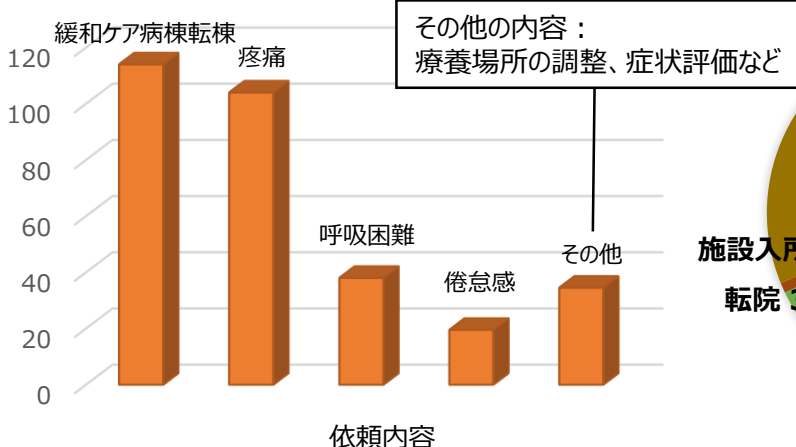
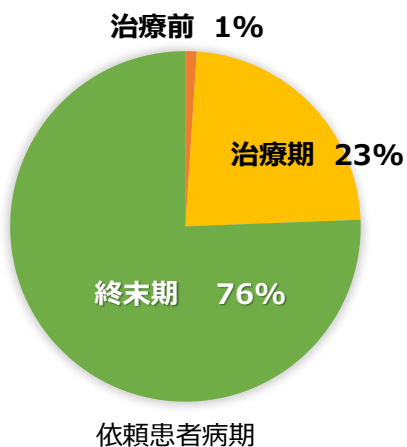
- 全室個室20床（無料10床・有料10床 ¥4,950）
- 2020年度データ
平均在院日数：19.0日 入棟患者：212名
退院患者：悪化死亡 159名 75.0% 軽快・不変退院・転院 56名 26.4%（自宅退院49名）
- 入院目的：
症状緩和目的入院（約2～3週間） レスパイト目的入院（約1週間） 看取り目的入院（3か月未満）
院内患者の退院調整目的入院 その他（抗がん剤の休薬期間の症状緩和）

病棟概要

緩和ケアチーム

医師：緩和ケア内科・呼吸器内科・血液内科・消化器内科・産婦人科・精神科
看護師：がん性疼痛看護認定看護師・がん薬物療法看護認定看護師・がん看護専門看護師
薬剤師 栄養士 理学療法士 MSW

- ラウンド：平日、医師・看護師・薬剤師の3名以上で実施
- カンファレンス：週1回 緩和ケアチームカンサーボード開催（30分）
複数の診療科医師とともに、症状緩和の方法・患者・家族への支援方法の検討



身体症状の相談だけでなく、療養環境調整など、社会的問題に対しても包括的に評価し、患者・家族の将来を見越した支援ができるよう、幅広く依頼を受けています。